

CONTENTS

- ◆表紙ページ
 - ・SDGs未来都市に選定 循環でつながるまち 長井を目指して
 - ・SDGsって何?
- ◆中ページ
 - ・長井市の取り組み
 - ・レインボープラン 25年の歴史 改めてレインボープランって?
 - ・グリーン専門人材とカーボンニュートラル
- ◆裏表紙ページ
 - ・家庭でできる省エネ術!

SDGs未来都市に選定 循環でつながるまち 長井を目指して

Planet 地球, Prosperity 豊かさ, People 人間, Partnership パートナースHIP, Peace 平和

※5つの「P」は、SDGsが目指す持続可能な世界を説明したキーワードです。

内閣府が選定する令和4年度「SDGs未来都市※1」に長井市が選ばれました!

平成30年に開始されたSDGs未来都市には昨年度までに全国で124自治体、県内では飯豊町、鶴岡市、米沢市の3自治体が選定されており、長井市は県内4例目となります。今年度は全国で30自治体、県内では長井市のみが選定されています。



選定証授与式が東京で行われ、野田聖子地方創生担当大臣から選定証をいただきました!

※1.SDGs未来都市って? SDGsの理念に沿った取り組みを進めようとしている地域の中でも、特に経済・社会・環境の三側面において新しい価値の創出を通して持続可能な開発を実現する可能性が高い地域を、内閣府が平成30年度から全国の自治体を対象に募集・選定している取り組みです。

選定された長井市の提案

人口減少に歯止めをかけ、「子育て世代」の定着を目指す!

- 25年にわたり継続してきた循環型地域づくり事業「レインボープラン」の新しい在り方への転換
- 人口密度の低下により損なわれつつある都市機能を維持するための「スマートシティ」の推進
- 産業振興交流拠点「タス」の再整備による新産業の創出と産業構造の変革

最近よく聞くけど SDGsって何?



地球規模の気候変動や感染症、貧困や紛争など、人類は多くの課題に直面しています。そのような危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な国際目標を立てました。それがSDGs(エスディーゼーズ)です。

Sustainable Development Goalsの略で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれます。持続可能な世界を実現するための17のゴール(開発目標)・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



地球にやさしい・お財布にやさしい 家庭でできる省エネ術!

地球温暖化が進むと、気温上昇や海面上昇、大雨などによる自然災害の増加、農林水産物の収量低下など様々な影響があるとされています。

私たちの暮らしにエネルギーは欠かせません。エネルギーの大半は、石油や石炭などを燃焼して得られますが大気中に二酸化炭素(CO₂)が排出されます。エネルギーの大量消費によってCO₂の排出量が上昇し、地球温暖化につながります。地球温暖化防止には、一人ひとりが問題意識を持ち、省エネを実行することが大切です。省エネは電気代削減にもつながります。地球にも家計にも優しい省エネに取り組みしましょう!

※出典:経済産業省資源エネルギー庁「省エネポータルサイト」
金額は年間の場合。算出根拠などは上記サイトをご確認ください。

冷暖房機編

エアコン 省エネポイント

- 冷房の時
- レースのカーテンやすだれで直射日光をカット
 - 外出時は、昼間でもカーテンを開けると効果的
 - 扇風機を併用
- 暖房の時
- 厚手で、床まで届くカーテンが効果的
 - 扇風機を併用し暖まった空気を循環 ※定期的に換気を行いましょ。

省エネ効果

- 夏の冷房時の設定温度を27℃から28℃にした場合 ▶▶▶ 約820円の節約
- 冬の暖房時の設定温度を21℃から20℃にした場合 ▶▶▶ 約1,430円の節約
- 冷房を1日1時間短縮した場合(設定温度:28℃) ▶▶▶ 約510円の節約
- 暖房を1日1時間短縮した場合(設定温度:20℃) ▶▶▶ 約1,100円の節約

照明編

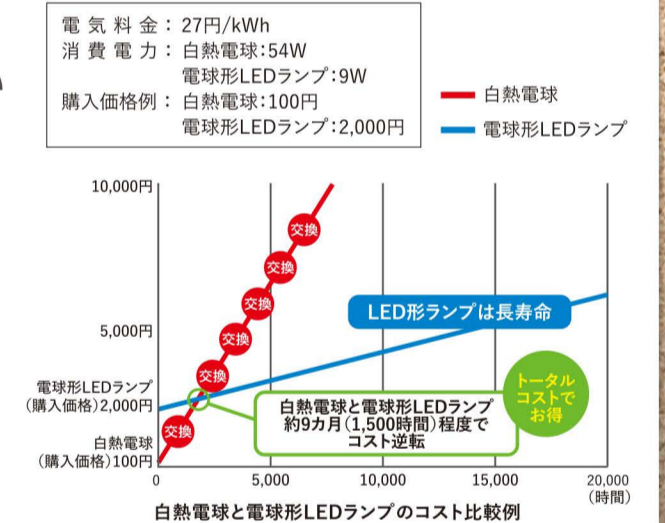
電球・ランプ

- 白熱電球**
 - 寿命:約1,000時間
 - 安価
- 電球形蛍光ランプ**
 - 寿命:約6,000~10,000時間
 - 省電力(白熱電球の約1/4)
- 電球形LEDランプ**
 - 寿命:約40,000時間
 - 省電力(電球形蛍光ランプの約3/4)

省エネ性に優れた製品に取り替えて点灯時間も短くしましょう。

省エネ効果

- 白熱電球から電球形蛍光ランプに取り替える ▶▶▶ 約2,270円の節約
- 白熱電球から電球形LEDランプに取り替える ▶▶▶ 約2,430円の節約
- 点灯時間を短く(それぞれ1灯の点灯時間を1日1時間短縮)
 - 白熱電球(54Wの白熱電球) ▶▶▶ 約530円の節約
 - 蛍光ランプ(12Wの蛍光ランプ) ▶▶▶ 約120円の節約
 - LEDランプ(9WのLEDランプ) ▶▶▶ 約90円の節約



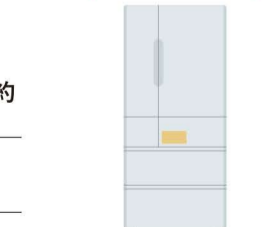
キッチン編

冷蔵庫

- 省エネポイント
- 熱いものは冷ましてから冷蔵庫へ
 - 庫内の温度設定を適切に
 - 冷蔵庫の中を整理しよう
 - ・ずっと入れっぱなしの食品を見直しましょう
 - ・常温保存可能なものは冷蔵庫に入れない
- 省エネ効果
- ものを詰め込みすぎない ▶▶▶ 約1,180円の節約
 - 詰め込んだ場合と半分にした場合
 - 無駄な開閉はしない ▶▶▶ 約280円の節約
 - 開けている時間を短くする ▶▶▶ 約160円の節約
 - 壁から適切な間隔で設置する ▶▶▶ 約1,220円の節約

開封前のびん詰めや調味料は常温で。砂糖や塩は開封後も常温で保存できます。

食品の傷みには注意!



設定温度を「強」→「中」に変更 約1,670円の節約

AV機器編

テレビ 省エネポイント

- 消すときは主電源をOFFに
- ゲームが終わったらテレビもOFF
- 画面の設定を見直そう(標準モードやリビングモードを選ぶ)

省エネ効果

- 1日1時間テレビを見る時間を短縮した場合 ▶▶▶ 約450円の節約
- テレビの画面の輝度を【最大-中間】にした場合 ▶▶▶ 約730円の節約

省エネモードの名称や機能はメーカーごとに違うので、説明書で確認しましょう。

- 省エネモードを活用しよう
 - ①明るさセンサー(部屋に合わせて自動で調整)
 - ②無信号電源オフ機能(電源オフ忘れ防止対策)
 - ③無操作電源オフ機能(電源オフ忘れ防止対策)



パソコン 省エネポイント

- 「国際エネルギースターロゴ」がついたOA機器は、待機状態が一定時間経過すると省エネモードに自動的に切り替わる機能を備えています。コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、スキャナ、ファクシミリなどが対象です。

省エネ効果

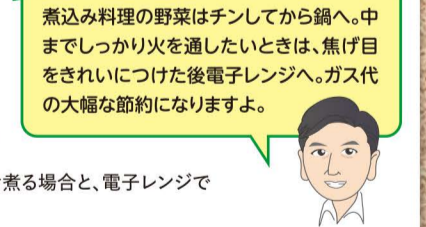
- 使わないときは電源を切る
 - 1日1時間利用を短縮した場合
 - デスクトップ型 ▶▶▶ 約850円の節約
 - ノート型 ▶▶▶ 約150円の節約
- 電源オプションの見直しを
 - 「モニタの電源OFF」→「システムスタンバイ」にした場合
 - デスクトップ型 ▶▶▶ 約340円の節約
 - ノート型 ▶▶▶ 約40円の節約



電子レンジ

- 省エネ効果
- 野菜の下ごしらえに電子レンジを活用
- 100gの食材を、1Lの水(27℃)に入れ沸騰させ煮る場合と、電子レンジで下ごしらえをした場合の比較(360日、1日1回)
- | | 葉菜
ほうれん草
キャベツ | 果菜
ブロッコリー
かぼちゃ | 根菜
じゃがいも
里芋 |
|----------------|---------------------|----------------------|-------------------|
| ガスコンロ | 約1,350円 | 約1,470円 | 約1,540円 |
| 電子レンジ | 約360円 | 約410円 | 約590円 |
| ガスコンロと電子レンジの差額 | 約990円の節約 | 約1,060円の節約 | 約950円の節約 |
- 野菜の栄養を逃さないことも電子レンジ下ごしらえのメリット
- 汚れを落として 温め効率UP!

煮込み料理の野菜はチンしてから鍋へ。中までしっかり火を通したいときは、焦げ目をきれいにつけた後電子レンジへ。ガス代的大幅節約になりますよ。



SDGs未来都市の提案達成に向けた 長井市の取り組み

長井市では、台所と農業をつなぐ循環である「レインボープラン」を、25年にわたり市民と行政が協働で育んできました。今後は、レインボープランの循環の在り方を発展させ、家庭や事業者から排出される食品残渣や下水汚泥などを資源とする再生可能エネルギーの供給によって、新しい循環を作り出すことを検討していきます。

長井市のほかの施策とも
共通した目標だね

長井市が進める取り組みと特に関連が深い開発目標

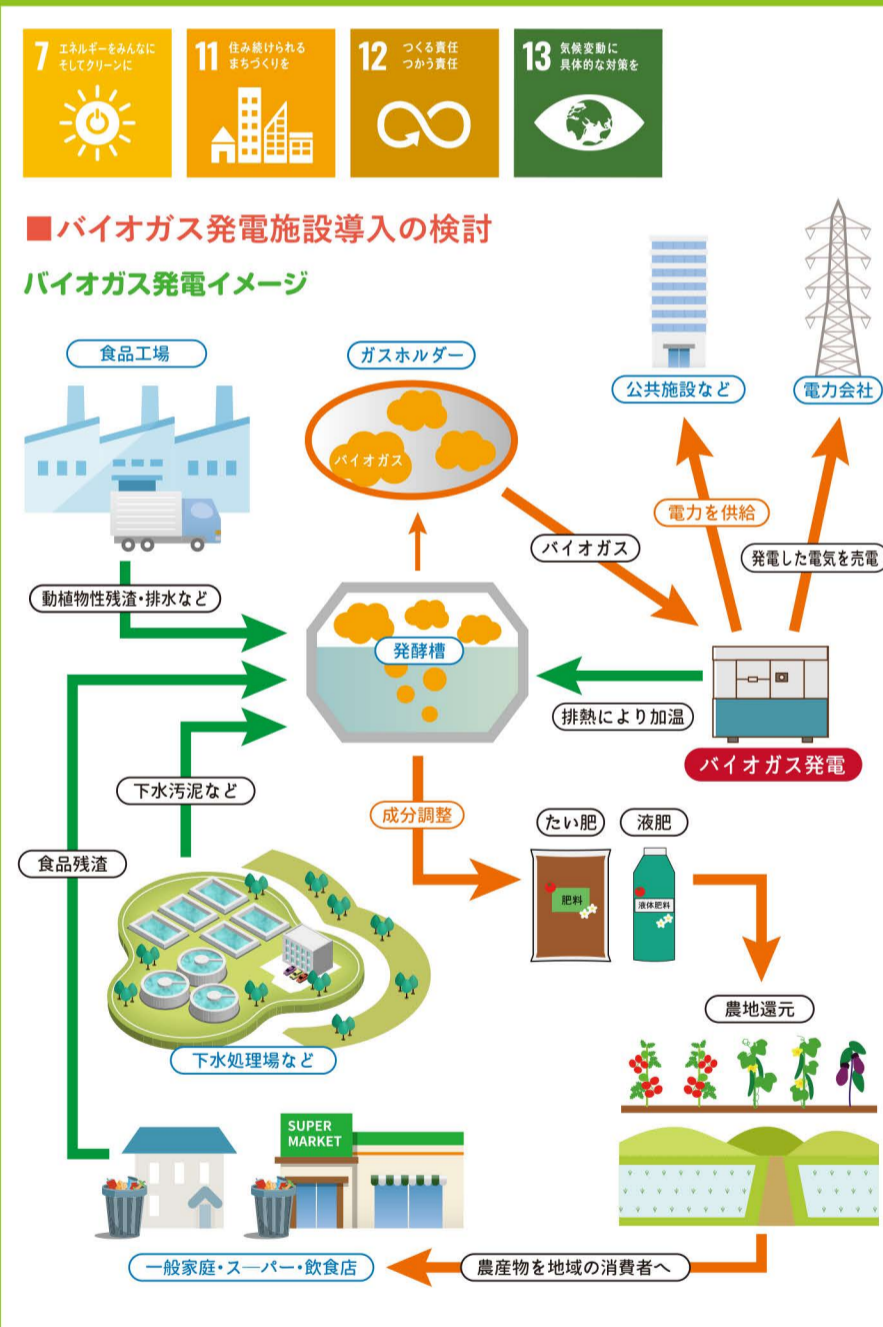


2030年のあるべき姿の実現に向けた 優先的なターゲット・ゴール

- 【環境】新しい循環型地域づくり事業による環境負荷の低減
- 【経済】多様な職種の創出および未来技術を活用した多様な働き方の確立
- 【社会】デジタル技術を生かしたスマートシティの実装

目標達成のための具体的な取り組み

循環型地域づくり



地域内経済循環の最大化及び利便性の向上



安心・安全の確保



産業振興交流拠点「タス」の利用者確保と雇用の創出



カーボンニュートラル※3に向けた取り組みの加速



循環|ともに|土はいのちのみなもと レインボープラン

25年の歴史 改めて レインボープランって？

レインボープランとは、分別回収した生ごみをたい肥化し、そのたい肥を使って育てた農作物を食卓に届ける「台所と農業をつなぐ循環」です。

レインボープランが始まったきっかけ

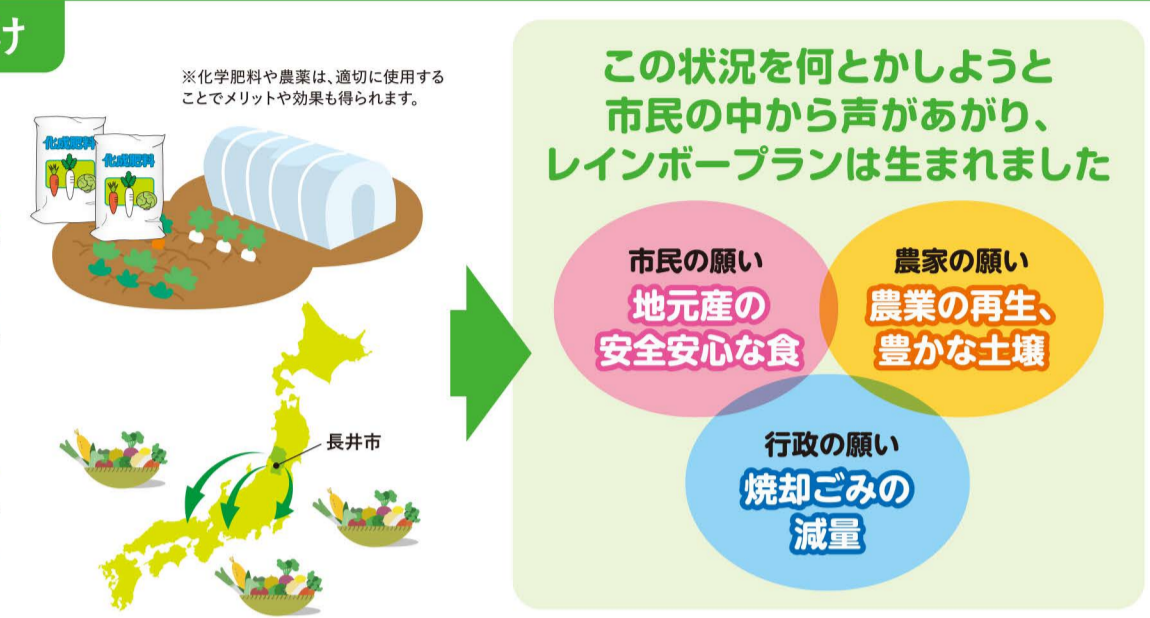
昭和後期～平成初期の長井市

田畑の土の力が失われていく

昭和30年代以降、人口の増加に伴って大量消費社会が始まりました。農産物の大量生産を支えるため、機械化と化学肥料・農薬の多用が進んだ結果、地力が衰え、自然環境への影響も心配されるようになりました。

地元の農産物が食べられない

長井市には広大な田畑が広がっているのに、地元でとれた新鮮な野菜は大量消費地へ運ばれ、市内の店頭には出回っていませんでした。



レインボープラン循環の流れ

生活生ごみを有機資源として活用し、土づくりのためのたい肥を生産しています。このたい肥を使って田畑の土の力を養い、化学肥料や農薬を減らして農産物を栽培しています。生産者の顔が見え、安心して食べられる農産物を食卓に届ける「地域内循環システム」が機能しています。

現在のレインボープラン



レインボープランがもたらしたもの

「台所」と「農業」、「まち」と「むら」の循環を通して、食と農を結ぶ循環サイクルを地域に定着させ、地産地消意識の高まりや、環境と調和する農業の推進に大きく貢献してきました。

レインボープランの取り組みの成果



東北初! グリーン専門人材とカーボンニュートラル

長井市では国の制度を活用して、令和4年4月から東日本電信電話株式会社(NTT東日本)よりグリーン専門人材を派遣していただき、再生可能エネルギー室長を委嘱しました。今後、2050年カーボンニュートラルを実現した社会に向け施策の検討などを行います。

再生可能エネルギー推進室 室長

恩田 拓也さん (東日本電信電話株式会社)

再生可能エネルギー推進室では、2050年までに地域の温室効果ガスの排出量と吸収量の合計を実質的にゼロにする、カーボンニュートラルを推進しています。長井市の豊かな自然を守りつつ、太陽光発電やバイオマス発電などの自然に優しい電力を通じて、資源や人の新しい循環を促し、持続可能なまちづくりを目指していきます。

現在、市民の皆さんにとって身近な分野を中心に、室員同士で意見を出しあい、暮らしがより豊かになる取り組みを検討しています。地域全体で地球に優しい長井市をともに創っていきましょう!

